多文化共生の社会づくりを目指して
災害をテーマにワークショップ

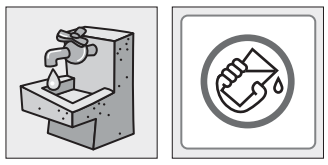
ICR 東部

2月6日(土)、熊本市国際交流会館で「多文化共生理解ワークショップ」が開催されました。熊本県多文化共生社会づくり推進事業の一環で、熊本YMCA・YMCAフィランソロピー協会・熊本市国際交流振興事業団が共催。同協会会員企業の社員や消防局職員、YMCA学院日本語科の留学生ら約40名が参加しました。日本・中国・インドネシア・オーストラリアの参加者は、ワークショップに取り組みながら、外国人を含むすべての人にとって暮らしやすいまちづくりについて考えました。

日本で暮らす外国人にとって、文化や生活習慣の違いは大きな問題。中でも〝言葉の壁〟はとても重要な課題です。特に、災害時には十分な情報が得られず「災害弱者」として孤立してしまう可能性があるのです。

そこで参加者は、日本に住む外国人が置かれた状況を疑似体験する、災害シミュレーションゲーム「カタストロフォイ(エスペラント語で大災害の意味)」を体験。架空の街で未知の災害により被災した外国人という設定で、与えられた課題をクリアし、それぞれの目的地を目指します。互いに言葉がわかならいため〝無言で〟コマを進めるという制約の中、「バス停」「公衆電話」「コンビニ」などの立ち寄り地点に置かれた「指示カード」に描かれたピクトグラム(絵文字)や不明な言語から、メッセージを読み取りました。

このワークでは、「災害」と聞いて思い浮かべる内容が人によって違ったり、災害の種類によって避難する場所が異なることを知りました。後半は、文字によらない表示方法として〝避難場所〟を示すピクトグラムを考案するワークショップ。各グループで話し合いながら、誰にでもわかりやすいことを心がけ、ピクトグラムを作り上げました。



「水が飲めます」を意味する指示カード　オモテ(左)・ウラ(右)

参加した肥後銀行の福田美由紀さんは「ゲームを通して、言葉がわからないことで災害時の不安が大きくなることを実感しました。熊本も留学生が多いので、少しでも不安を取り除くお手伝いができればと考えさせられました」。オーストラリア出身で日本在住2年目のウィリアム・ビショップさんは「日本と私の国とでは、道路標識などのマークがほとんど違います。みんなで作ったように、世界共通のマークが必要ですね」。また、熊本日日新聞社の清海宏さんは「情報を提供する側として、災害時のニュースの伝え方も考える必要があると思います」と述べました。

ゲームで使用するカード類を含む報告書は3月中に完成し、国際協力団体や希望者に配布される予定です。(問い合わせ：熊本YMCA　ICR　TEL096-353-6397)

①頭に思い浮かんだ世界地図を描く“イメージマップ”に挑戦。出身国によって、地図の中央に位置する国も様々。

②災害シミュレーションゲーム「カタストロフォイ」。人物設定に合わせて、カードの内容から指示を判断してコマを進めます。

③目的地の「避難場所」をどう考えるかに戸惑いの声も。災害として何を想定したかによって避難場所も様々。

④参加した消防局員から、災害時に起こるアクシデントや避難する際の注意点など専門的な視点から説明も。

⑤避難場所を示すピクトグラム(絵文字)を作成。世界共通であること、宗教観も考慮すべきとの意見も。

日本語教室を八代市に開設

上通 A討中

熊本県の外国人登録者数は10年間で68％も増加し、現在9000人以上の外国人が生活しています。外国人が日本で生活し、コミュニケーションを行っていくためにも日本語学習は必要で、全国でも行政と民間で様々な取り組みが始まっています。

熊本県の委託事業「地域日本語学習支援事業」の実施団体として上通YMCAが、県内で最も外国人が多い熊本市に次ぐ八代市に日本語教室を開設しました。週3回、生活のための日本語、仕事のための日本語のクラスに約20名の外国人が通っています。また、日本語練習クラブは地元八代のボランティアによって運営されています。

日本語をできるだけ少ない負担で学んでもらいたい、八代地域の人々に多文化共生への理解を深めるきっかけを提供したいという願いのもと、熊本YMCAでは日本語教育事業を今後も展開していきます。

REPORT event

学院

勇気を出して新たな一歩 児童福祉教育科卒業発表会

■開　催　日／2010年1月21日(木)・27日(水)・28日(木)・31日(日)

勇気をもって一歩を踏み出す大切さを『一歩～39の足跡～』というテーマに込め、11期生39名で取り組んだ卒業発表会。「私たちの一歩って何なのか」「子どもたちにどう伝えるか」と悩み考え、何度もぶつかり合い、涙しながら、力を合わせ、創作劇や合奏などを全員で創り上げていきました。その中で、「一歩」を踏み出す勇気は、時に周りの人の幸せや元気につながるパワーになることに気づかされました。感謝の気持ちを忘れずにこれから私たちは、保育者としての新たな一歩を踏み出します。

YMCA学院
児童福祉教育科3年
永田麻菜美さん

子ども文化会館で

むさし

むさしYMCA 県少年サッカー選手権で初優勝！

■開　催　日／2010年2月11日(祝・木)
■開催場所／大津町運動公園多目的広場

第41回熊本県少年サッカー選手権大会の決勝戦で、むさしYMCAサッカーチームが悲願の初優勝を果たしました。キャプテンの鈴木健太郎くんは「今まで必死に練習して、自分たちの〝ポゼッションサッカー(＊)〟ができたので優勝できました。目標は九州大会での優勝なので、さらに気を引き締めて大会に臨みます」と語ってくれました。

3月13日(土)・14日(日)には、九州大会が開催。次の勝利へ向け、大きな期待が寄せられます。(詳しくは館内掲示のYMCA　NEWS号外をご覧ください。)

＊ボールをキープして、試合の主導権を握ろうという戦術。

学院 YMCA学院　高校 YMCA学院高等学校 くまもと教育センター　みなみ みなみYMCA　上通 上通YMCA　東部 東部YMCA　水前寺 水前寺幼稚園　ながみね ながみねファミリーYMCA　むさし むさしYMCA　阿蘇 阿蘇YMCA
永草 永草保育園　リフレス リフレスおおむた　ICR ICR　フィランソロピー協会　ミュージカルY!　体育英語幼児園　Y's ワイメンズクラブ　ユース ユース